

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	トラスツズマブ(ハーセプチン・HER)	4mg/kg (初回のみ)	div	90分	d1
2	トラスツズマブ(ハーセプチン・HER)	2mg/kg	div	90分	d8、 d15、 d22
3	カペシタビン(ゼローダ)	下記参照	経口		d1～d21
4					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週間(HERは4投、ゼローダは3投1休)
総コース数	出来る限り
コース間での休薬の規定	トラスツズマブの心毒性のために心機能が低下した場合、トラスツズマブを休薬する 白血球数2,000/mm ³ 未満の場合は、回復するまで延期

減量規定・中止基準	白血球数2,000/mm ³ 未満
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	HER初回投与時は4mg/kg、2回目以降は2mg/kg
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	なし

患者条件

- ・PS 0～2
- ・再発転移HER2陽性(Herceptest3+、FISH陽性)
- ・主要臓器が保たれている症例
- ・心エコーで心駆出力50%以上

除外規定

- ・PS 3以上
- ・骨髄機能低下の著しい患者
- ・重篤な感染症を合併している患者
- ・重篤な心障害のある患者(左室駆出率50%未満)

実施上の注意点

- ・ゼローダの投与量: 体表面積1.31m²未満は1回900mg、体表面積1.31m²以上1.64m²未満は1回1200mg、体表面積1.64m²以上は1回1500mg。1日2回朝夕食後に服用。
- ・ゼローダはテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中及び投与中止後7日以内は投与しないこと。
- ・ハーセプチン投与開始前には必ず患者の心機能を確認する。
- ・ハーセプチン投与開始24時間以内に現れるInfusion reactionのうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用は特に安静時呼吸困難のある患者、又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与する。